

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	スポーツ生理学	講義	2	30	解剖学 バイオメカニクス
学科・学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
AT学科 1年	星川 秀利	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
授業目標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
①運動に伴い各器官がどのように働くのかを説明できる ②運動に伴い各器官がどのように連携しているのか説明できる ③トレーニングより各器官がどのように適応するか説明できる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
運動を行うことによって、エネルギー供給系、筋、神経、呼吸循環器、内分泌の各器官がどのように働き、 トレーニングによってこれらがどのように適応していくのかを学ぶ。					
教科書・参考書					
<ul style="list-style-type: none"> ・「スポーツ生理学」(青木 純一郎 他、市村出版) ・「運動生理学20講」(勝田 茂、朝倉書店) ・「Exercise Physiology:Nutrition,Energy,and Human Performance」 					
受講時留意点、その他					
【 全科目受講時共通事項 】 ※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照 <ul style="list-style-type: none"> ● 病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ● 授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ● 授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ● 授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ● 当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 ※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に 手渡して下さい。授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書が ある場合のみ出席とみなします)。					
成績評価方法					
評価 方法	評価 割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期 試験	100	出席状況、授業態度、定期試験により総合的に評価する			
その他					
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		エネルギー供給系(その1)		/	星川
2		エネルギー供給系(その2)		/	星川
3		筋系の構造と機能(その1)		/	星川
4		筋系の構造と機能(その2)		/	星川
5		神経系の構造と機能(その1)		/	星川
6		神経系の構造と機能(その2)		/	星川
7		トレーニングによるエネルギー供給系、 筋系、神経系の適応		/	星川
8		呼吸循環器系の構造と機能(その1)		/	星川
9		呼吸循環器系の構造と機能(その2)		/	星川
10		呼吸循環器系の構造と機能(その3)		/	星川

